

日興ロックフェラー医療戦略ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第9期（決算日2019年7月31日）

作成対象期間（2018年8月1日～2019年7月31日）

第9期末（2019年7月31日）	
基準価額	25,984円
純資産総額	550百万円
第9期	
騰落率	2.0%
分配金（税込み）合計	500円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興ロックフェラー医療戦略ファンド」は、2019年7月31日に第9期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、医療関連企業の発行する株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

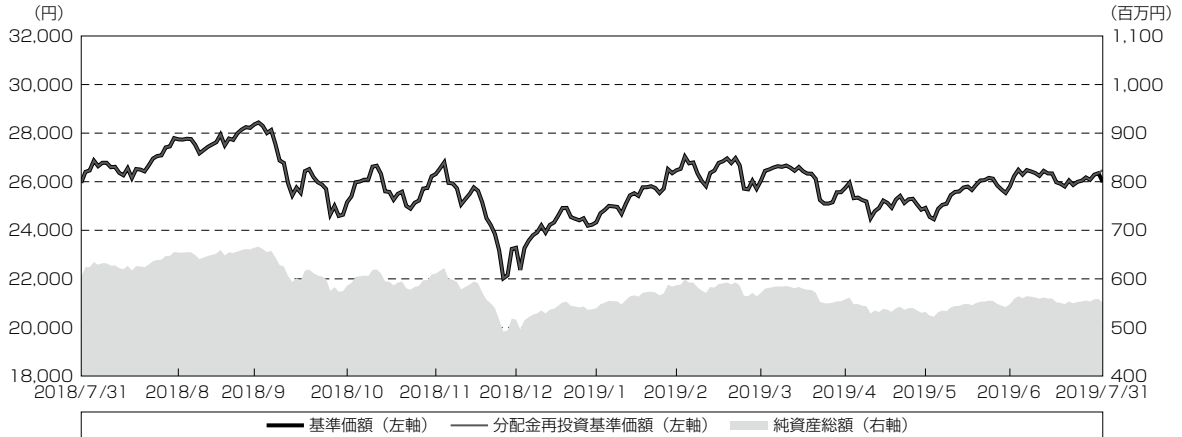
お知らせ

当ファンドは、2020年7月31日に信託期間が終了し、償還を迎える予定です。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年8月1日～2019年7月31日)



期首：25,959円
 期末：25,984円 (既払分配金(税込み)：500円)
 騰落率：2.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年7月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、医療関連企業の発行する株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・一部のバイオテクノロジー企業の銘柄選択が奏功したこと。
- ・企業買収などで恩恵を受けた企業があったこと。

<値下がり要因>

- ・政治的および社会的圧力による薬価の引き下げ懸念の悪影響を受けたこと。

・米中間の貿易摩擦などを背景とした世界経済の減速懸念。

1 万口当たりの費用明細

(2018年8月1日～2019年7月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 530	% 2.052	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(285)	(1.102)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(223)	(0.864)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供などの対価
(受託会社)	(22)	(0.086)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.029	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(7)	(0.029)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	2	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(2)	(0.006)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	68	0.263	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(41)	(0.157)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(25)	(0.095)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(その他)	(2)	(0.007)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	607	2.350	
期中の平均基準価額は、25,844円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

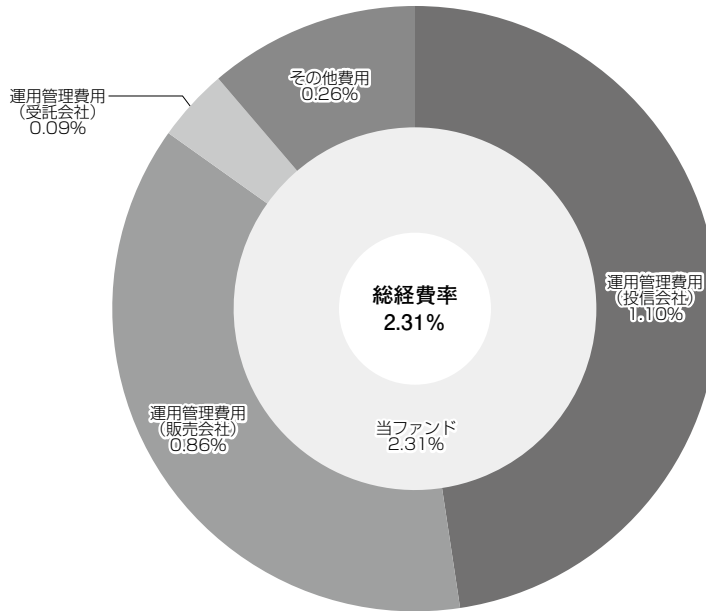
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.31%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

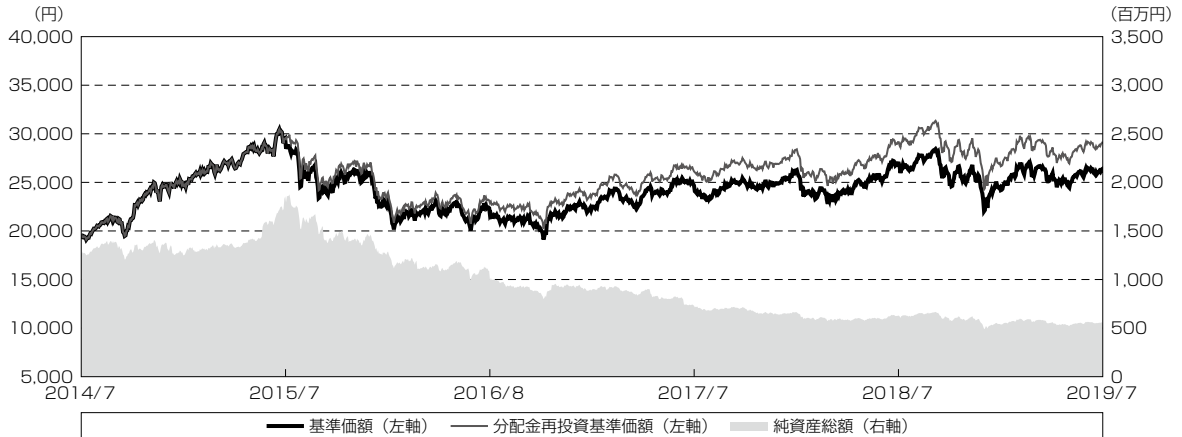
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年7月31日～2019年7月31日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年7月31日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年7月31日 決算日	2015年7月31日 決算日	2016年8月1日 決算日	2017年7月31日 決算日	2018年7月31日 決算日	2019年7月31日 決算日
基準価額 (円)	19,697	28,457	21,598	24,084	25,959	25,984
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,000	500	500	500	500
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	49.6	△22.3	13.8	9.9	2.0
純資産総額 (百万円)	1,261	1,793	991	713	605	550

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2018年8月1日～2019年7月31日)

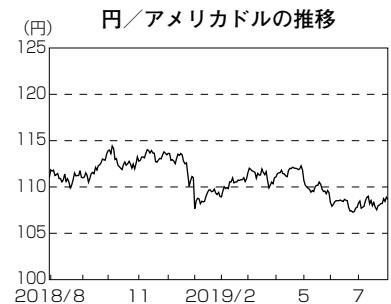
(株式市況)

世界の株式市場は、米国の好調な企業決算が評価されたことなどから比較的堅調な展開で始まりまし
た。しかしその後は、主力企業の決算が市場予想を下回ったことや米国の長期金利の上昇が警戒された
こと、米中間の貿易問題が長期化すると観測を背景に、大きく調整する展開となりました。グローバ
ル経済の減速懸念が台頭し、2018年末にかけて軟調な展開となりました。

2019年の年明け以降は、米中通商協議の進展期待や米国の追加利上げの休止観測などから投資家心
理が改善し、世界の株式市場は大きく上昇する展開となりました。5月に入り、米中間における追加関
税や米国による中国通信機器大手への輸出規制の発表を受け、貿易摩擦の再燃に対する警戒感から反落
する局面はあったものの、6月末の米中首脳会談での追加関税の先送りや米国の利下げ観測などを背景
に、世界の株式市場は比較的堅調な展開となりました。

(為替市況)

期間中における円／アメリカドル相場は、右記の推移となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2018年8月1日～2019年7月31日)

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル医療戦略マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないま
した。

(グローバル医療戦略マザーファンド)

バイオテクノロジー企業における技術革新などに注目しており、複数の医学学会へ出席したり、各種
の論文を購読し、時期ごとに細部のチェックを行なうなど、十分に吟味して銘柄選択を行ないました。
またこのような銘柄選択に基づいて、ポートフォリオにおいては活発な銘柄入替などを行ないました。
一方で、ヘルスケアセクターでバリューを提供できる割安で革新的な企業の発掘も続けました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年8月1日～2019年7月31日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2018年8月1日～2019年7月31日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第9期	
	2018年8月1日 ～2019年7月31日	
当期分配金	500	
(対基準価額比率)	1.888%	
当期の収益	493	
当期の収益以外	6	
翌期繰越分配対象額	15,983	

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル医療戦略マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(グローバル医療戦略マザーファンド)

地政学面の不透明感が強くコモディティ価格の変動が激しい市場環境下、ヘルスケアセクターに対しては引き続きポジティブな見方をしています。当社では、ヘルスケアセクターにおいて多様な銘柄に分散投資する戦略は、生活必需品などの他のディフェンシブ(景気動向に左右されにくい)なセクターに投資するよりも、景気循環の各局面で有効と考えます。ヘルスケアセクターのバリュエーション(株価評価)は、他のディフェンシブなセクターと比較して特に割高とはみていません。

2020年の米国大統領選挙については、候補者たちがヘルスケア政策を表明し始めたため、今後の数ヵ月間は、ヘルスケアセクターにとって重要な時期でありその動向を注視していきます。今後も、米国におけるヘルスケア政策や世界の地政学的状況に対して注視して運用していきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2018年8月1日から2019年7月31日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2018年11月1日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。（付表）

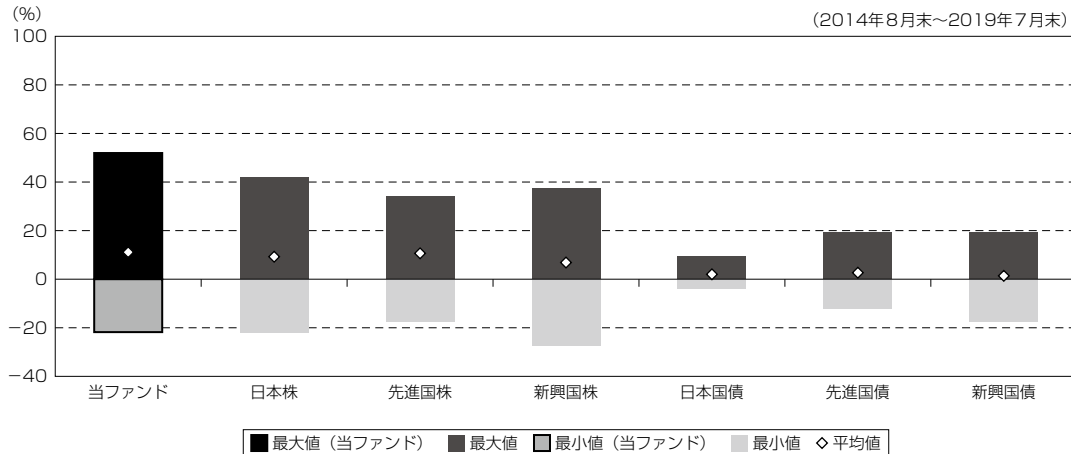
当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年4月27日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。（第57条、第57条の2）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2010年7月30日から2020年7月31日までです。	
運用方針	主として「グローバル医療戦略マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興ロックフェラー医療戦略ファンド	「グローバル医療戦略マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル医療戦略マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）のうち、医療関連企業の発行する株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。医薬品メーカーに限らず、医療用機器やバイオテクノロジー、医療施設などの分野の企業を幅広く投資対象とします。原則として為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	51.9	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△21.8	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	11.1	9.3	10.6	6.9	2.0	2.7	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年8月から2019年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●**東証株価指数 (TOPIX、配当込)** は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●**MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)** は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)** は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**NOMURA-BPI国債**は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●**FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)** は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●**JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)** は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年7月31日現在)

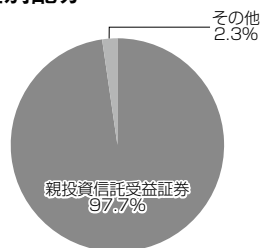
○組入上位ファンド

銘柄名	第9期末
グローバル医療戦略マザーファンド	97.7%
組入銘柄数	1銘柄

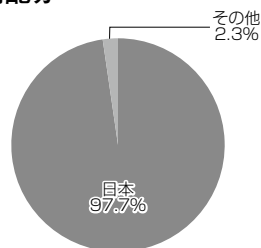
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

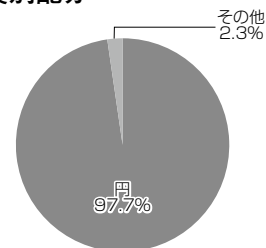
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第9期末
	2019年7月31日
純資産総額	550,704,842円
受益権総口数	211,943,892口
1万口当たり基準価額	25,984円

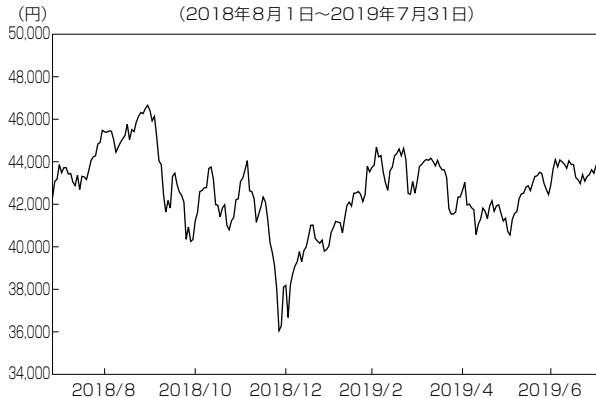
(注) 期中における追加設定元本額は12,045,495円、同解約元本額は33,186,197円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル医療戦略マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年8月1日～2019年7月31日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年8月1日～2019年7月31日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	13 (13)	0.030 (0.030)
(b) 有価証券取引税 (株式)	3 (3)	0.006 (0.006)
(c) その他費用 (保管費用)	71 (68)	0.167 (0.161)
(その他)	(3)	(0.007)
合計	87	0.203

期中の平均基準価額は、42,551円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

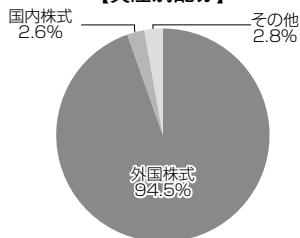
【組入上位10銘柄】

(2019年7月31日現在)

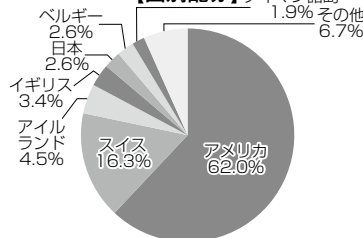
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	NOVARTIS AG-SPONSORED ADR-ADR	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	スイス	8.0
2	ROCHE HOLDINGS LTD-SPONS-ADR	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	スイス	5.7
3	ILLUMINA INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.7
4	NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.6
5	MEDTRONIC PLC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アイルランド	4.5
6	CERNER CORP	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	4.5
7	DEXCOM INC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	4.2
8	ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.0
9	BECTON DICKINSON AND CO	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.8
10	GLAXOSMITHKLINE PLC-SPON ADR-ADR	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	イギリス	3.4
組入銘柄数			55銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

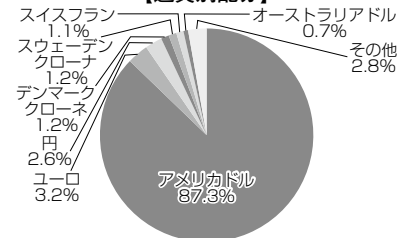
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。